

## 第2回定例ミーティング議事録 「風花」

2018.02.17  
文責：東

### 1. 参加者挨拶

恒例の、アイスブレイクをかねた自己紹介。M2は修論発表も済み楽しい盛りである（修論の済んでいないM2はまず今日参加していない）。M1は研究に就活にいよいよ忙しくなる時期だということが伝わってくる。もっともいつだって忙しい人は忙しいのだけれど、今はモンスターハンターワールドに加えオリンピックまである。

### 2. 大学生協+院生ミーティングに関する勉強会

院生ミーティングとは、慈善事業でお金をくれる大学生協に遊ばせてもらってる院生の団体...ではない。大学院生と大学生協の橋渡しとなり、両者の効用を増すという存在意義がある。...という旨に関する勉強会。

「『大学生協』の正式名称は？」

「大学...せい...きょうどう.....？」

組織の役割や仕組みやなどについて、今一度意識を合わせるための講義が行われた。詳しくはこの日の資料のパワーポイントファイル参照。荒っぽく要約すれば、大学内の生活を便利にするための組織が大学生協（全国大学生協同組合連合会）であり、大学の中でも何をしてどう生きているのか伝わりづらく得体の知れない「大学院生」のニーズ・意見を拾って大学生協へ反映する役を担っているのが院生ミーティング（大学生協東京ブロック院生ミーティング）である。

（休憩。羽生選手金メダル）

### 3. 活動報告

#### 4. 2018年度役職紹介

院生ミーティングの組織図、所属を改めて確認。役職名の響きほどには全員が大層なことをしているとも限らない。

今年は、よりフットワーク軽く、イベントやもっと小さな活動を発案・実現するための部署、「企画局」の設置が一つのミソである。活用していこう。

#### 5. 2018年度年度方針・年度スケジュール

前回の定例ミーティングにおける話し合いで決定した、年次目標なども併せて確認。年次スケジュールに関しては現時点では昨年とおおむね同様であるが、定例ミーティング日の決め方の方針を変更。これまで開催の直前に決めていたことが多かったが、今後はもっと前々から日程を決めることで、参加者のスケジュールリングを容易にし参加者を増やすことを目指す。

#### 6. 新歓企画案コンテスト

新入生歓迎会を充実したものにするための企画案をグループディスカッション。すでに開催が決定している東京工業大学の生協の新入生歓迎会をモデルケースに話し合い、発表。

##### 目的に関する案

・単なるちょっとした学内交流会で済ませずに、インターカレッジサークルとしての院生ミーティングへの勧誘という側面を明確に打ち出してはどうか。

...外部生であれば、もともと交流などには積極的になる傾向があるだろう。交友範囲が固定しがちな内部進学院生にも、学外交流のきっかけを示すとよいのではないか。

##### やり方に関する案

・一対全の説明を減らし、少人数ずつに分けたうえでの双方向性の高いプレゼンを行う形式を採ってはどうか。

...フェイストゥフェイスのやり取りで実際の声を伝え、興味と理解を深めてもらう。

・基本的に凝ったことをせず尺だけ与えて、あとの交流は各新入生同士の自主性に任せればよいのではないか。

...もう幼い子どもではなく、20いくつの大学院生なのだから。

### 内容に関する案

・大学生協や院生ミーティングに関するお題でグループディスカッションをしてもらう。これにより新入生のニーズを把握できる。さらに、よい企画が発案されたらこれを大学生協と院生ミーティングが実現し、新入生に実際に参加してもらう。

...一度きりにせず、「次」につながる新入生歓迎会を。

・第一印象伝言ゲーム

...やってみたい。

・チョコフォンデュ

...お茶の水女子大学での新入生歓迎会を想定

### 周知に関する案

・ポスター、ビラを使い、各大学の各研究室をまわるレベルで告知を進めるというのはいかがでしょうか。

...現状では、院生ミーティングを知る機会に不均等性が高い。例えば入学時に渡される書類群の内に「院生stylebook」が入っていれば良い方だが、生協の建物の廊下のラックにそっと置いてあるだけだったりすることもあり、そもそも見たことがない、という声も聞く。どこをどう探したのか、ネットの海の中からやっとのことで院生ミーティングの存在を探り当てる人もいたりする。人海戦術、各人の少しの労力で効果が見込めるなら、各大学生協任せにせず、我々が動いてみても面白いかもしれない。院生stylebookをこっそり配って歩くなど。

## **7. 今後の企画**

追いコンなど直近のイベントに関する担当者の進捗報告。と言ってまだ先であり具体的には進んでいない。